

- 庄高麗蔘大商グループ特別研修会, 1997, 8, 奈良.
- 15) 小野武年: 脳の老化と紅蔘の予防効果. 正官庄高麗蔘特別研修会(北陸地区), 1997, 8, 富山.
- 16) 小野武年(特別講演): 脳と記憶. 第1回宮崎Neuroscience研究会, 1997, 9, 宮崎.
- 17) 小野武年, 西条寿夫, 田村了以, 上野照子: 扁桃体と情動記憶. 平成9年度生理学研究所研究会-情動・記憶・意欲をいかにとらえるか-, 1997, 9, 岡崎.
- 18) Ono, T.(招待講演): Effects of the red ginseng on deficits of aged rats in place learning. '97韓日高麗人蔘学術大会, 1997, 9, Seoul.
- 19) 小野武年(招待講演): 香りと情動と脳. 第3回ジャパンアロマテラピーフォーラム, 1997, 10, 東京.
- 20) 小野武年(招待講演): サル海馬体ニューロンの条件性場所・物体連合課題における場所、物体、および行動に対する応答性. 大阪大学蛋白質研究所セミナー「記憶学習の分子機構」, 1997, 11, 大阪.
- 21) 小野武年: 脳の原理、ヒトとは何か. 頭脳学のみかた. AERAMook, 朝日新聞社, 20-21, 1997.
- 22) 小野武年: 『「知覚, 記憶, 情動の脳内機構: 神経科学の最前線」を開催して』平成8年度セミナー「国際会議開催のために」ケース・スタディ報告書, 22-34, 1997.

## 生 化 学 (1)

教 授	平 賀 紘 一
助 教 授	古 谷 田 裕 久
助 手	森 ヶ 崎 進
助 手	李 芳

### ◆ 著 書

- 1) 平賀紘一: 個体と性別. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 2-3, 南山堂, 東京, 1997.
- 2) 平賀紘一: 細胞の構成物質. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 6-7, 南山堂, 東京, 1997.
- 3) 平賀紘一: 転写調節因子. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 14-15, 南山堂, 東京, 1997.
- 4) 平賀紘一: RNAの分解と調節. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 20-21, 南山堂, 東京, 1997.
- 5) 平賀紘一: 活性炭素, プリン, 尿酸, ピリミジン. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 46-47, 南山堂, 東京, 1997.
- 6) 古谷田裕久: 細胞外基質. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 36-37, 南山堂, 東京, 1997.
- 7) 古谷田裕久: 遺伝子治療. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本 博, 伊達孝保, 野口民夫編, 110-111, 南山堂, 東京, 1997.

### ◆ 総 説

- 1) 平賀紘一: 菊地吾郎先生の研究の縦系と横系. 蛋白質核酸酵素 42, 1965-1968, 1997.

### ◆ 学会発表

- 1) 古谷田裕久, 森ヶ崎進, 李 芳, シクダール・ダイパヤン, 平賀紘一: ラット伊東細胞株が異なる培養条件下で表す $\alpha 1(I)$  collagen mRNAの代謝回転. 日本生化学会北陸支部第15回大会, 1997, 5, 金沢.
- 2) 李 芳, 古谷田裕久, 森ヶ崎進, SIKDAR, Dwaipayan, 平賀紘一: ヒト染色体1q23-25のH-蛋白偽遺伝子による多型領域の構造解析. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.
- 3) 森ヶ崎進, 古谷田裕久, 李 芳, SIKDAR, Dwaipayan, 平賀紘一:  $CCl_4$ 投与ラットにおける血清アルブミンmRNA分解速度の変化. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.

- 4) 古谷田裕久, 森ヶ崎進, 李 芳, SIKDAR, Dwaipayan, 平賀紘一: 株化伊東細胞の基質への接着によるRNAポリメラーゼIとIIの活性抑制. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.

◆ その他

- 1) 富山県リカレント教育学習コース「DNAとバイオテクノロジー」, 平賀紘一, 小川宏文, 浅野真司, 古谷田裕久, 日比野康英, 森ヶ崎進 監修.

## 生 化 学 (2)

教 授	許 南 浩
助 授	小 川 宏 文
助 手(前)	喜 納 宏 昭
文 部 技 官	高 田 義 美

◆ 著 書

- 1) 許 南浩: ステロイドホルモンと甲状腺ホルモン, ビタミンA・Dと核受容体, 細胞周期とがん抑制遺伝子, がん遺伝子産物. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本博, 伊達孝保, 野口民夫編, pp 72-73, 74-75, 90-91, 94-95, 南山堂, 東京, 1997.
- 2) 小川宏文: 主要なアミノ酸の代謝, 生物時計. 「医学のための基礎分子細胞生物学」平賀紘一, 山本博, 伊達孝保, 野口民夫編, 44-45, 80-81, 南山堂, 東京, 1997.

◆ 原 著

- 1) Kashiwagi, M., Kuroki, T., and Huh, N.: Specific inhibition of hair follicle formation by epidermal growth factor in an organ culture of developing mouse skin. *Dev. Biol.*, 189, 22-32, 1997.
- 2) Nishikawa, A., Lee, I., Uneyama, C., Furukawa, F., Kim, H., Kasahara, K., Huh, N., Takahashi, M.: Mechanistic insights into chemopreventive effects of phenethyl isothiocyanate in N-Nitrosobis(2-oxopropyl) amine-treated hamsters. *Jpn. J. Cancer Res.*, 88, 1137-1142, 1997.
- 3) Ogawa, H., Gomi, T., Imamura, T., Kobayashi, M., and Huh, N.: Rat liver 4S-benzo[a]pyrene-binding protein is distinct from glycine N-methyltransferase. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 233: 300-304, 1997.
- 4) Ansai, Y., Sakamoto, T., and Ogawa, H.: Non-sympathetic nerve regulation of daily rhythms of serine dehydratase, DBP, and HMG-CoA reductase mRNA levels in rat liver. *Biol. Rhythm Res.*, 28: 185-197, 1997.
- 5) Ogawa, H., Gomi, T., Takata, Y., Date, T., and Fujioka, M.: Recombinant expression of rat glycine N-methyltransferase and evidence for contribution of NH<sub>2</sub>-terminal region to cooperative binding of S-adenosylmethionine. *Biochem. J.*, 327: 407-412, 1997.